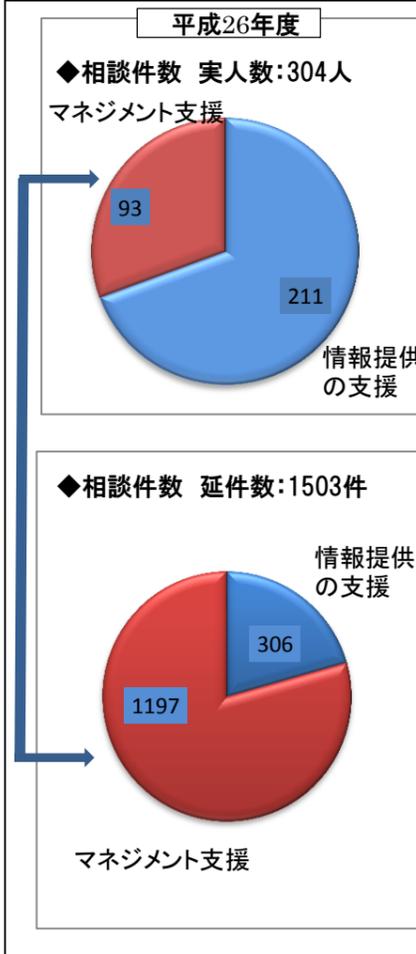
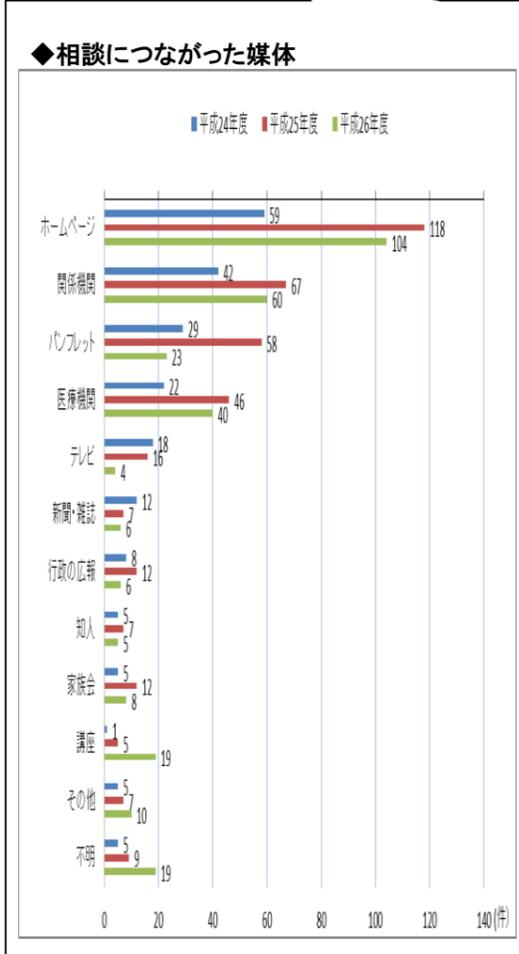
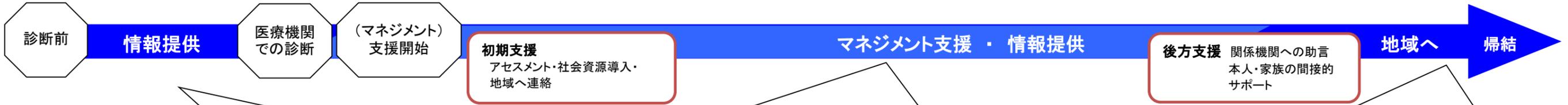
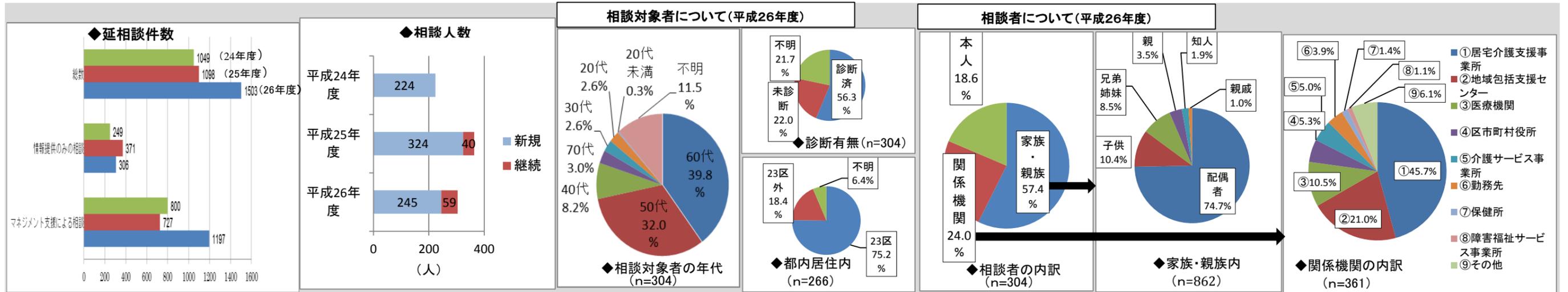


# 平成24年～26年度東京都若年性認知症総合支援センターの実績



**※マネジメント支援…**  
電話相談や情報提供だけでなく、面談や訪問などによって本人・家族のアセスメントを行った上で、個別に合った支援を導入したり、関係機関への連絡や連携を行い継続的に支援した場合の相談。1名の相談者に複数回の相談・支援を行う。

**◆相談内容**

相談内容	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医療に関する相談	277	193	184
社会資源の活用に関する相談	310	316	320
経済的な問題に関する相談	44	91	86
本人・介護者の生活に関する相談	148	234	487
就労に関する相談	8	29	65
関係機関との相談及び連携	209	235	351

**◆「社会資源の活用に関する相談」では、経済的な問題、就労についても、総合的に支援していた**  
**◆診断直後など相談開始時には、社会資源全般について支援していた**  
**◆「社会資源の活用に関する相談」は、若年性認知症専門サービス情報が多かった**  
**◆「本人、介護者に関する相談」では、サービスにつながらない、本人の状態悪化に伴う介護者の疲弊など、困難ケースが増えていた**

マネジメント支援は、在宅生活が安定した段階で地域の身近な相談支援担当者に支援を移行して、一旦帰結する。  
 ・社会資源の導入がされている ・家族への支援が導入されている  
 ・地域の相談支援担当者へ主体的に相談できている

**◆マネジメント支援の相談方法の内訳(n=1,197)**

方法	割合
電話	47%
面談	29%
訪問・会議	21%
メール	2%
その他	1%

**◆地域と連携できた件数(n=64)**

機関	割合
居宅介護支援事業所	36%
地域包括支援センター	23%
医療機関	15%
介護サービス事業所	6%
区市町村役所	4%
障害福祉サービス事業所	3%
保健所・保健センター	2%
勤務先	2%
その他	9%

**◆相談の帰結までにかかった期間**

年度	期間(ヶ月)
平成24年度	4.8
平成25年度	4
平成26年度	5.1

**※帰結後も家族からの直接的な相談が戻ってくる場合もあった。**

**【今後の課題】**

- 相談の開始における医療機関との連携
- 相談の帰結のための啓発・研修
- 専門サービスを含む社会資源の充実
- 個別マネジメント支援の継続